

第5回

稲築東中学校区
小中一体型校施設整備協議会

資料

令和元年11月28日

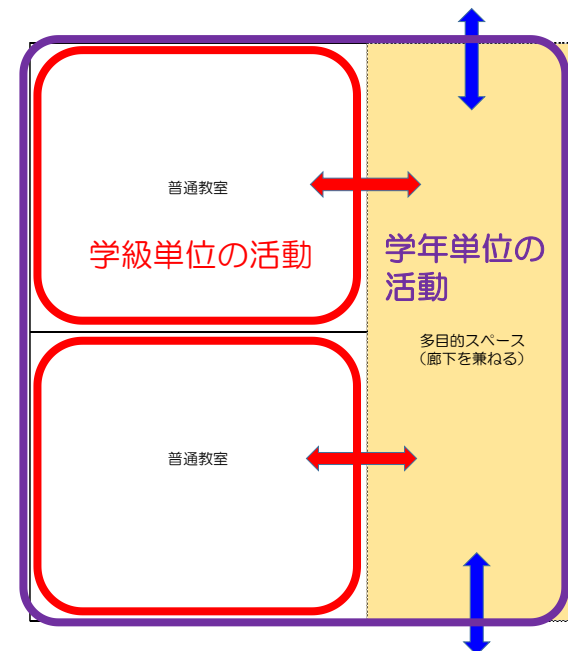
小中一体型校における教室形状について

普通教室の空間構成

日常的に展開される多様な学習内容・学習形態に弾力的に対応できる空間構成

小学校

- オープンスペース型とし、学年ごとにユニットを構成
- 広い廊下が多目的スペースを兼ね、学年単位でのまとまりを重視
- 普通教室とオープンスペースの間には可動式の間仕切りを設置し学級単位の活動に対応

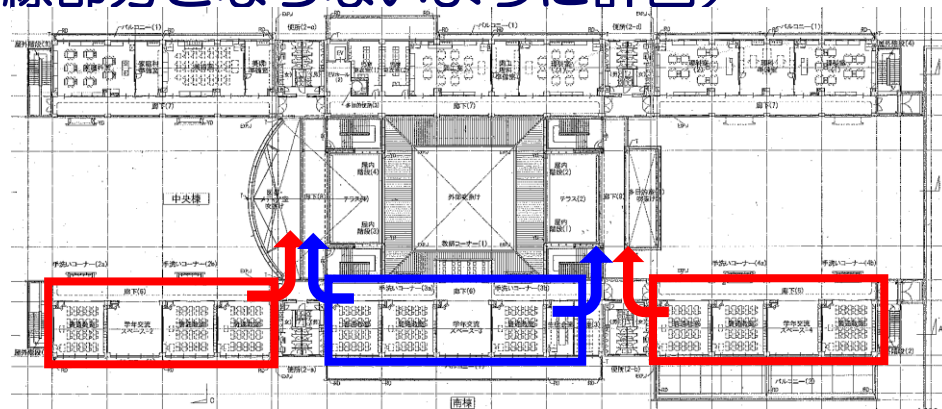
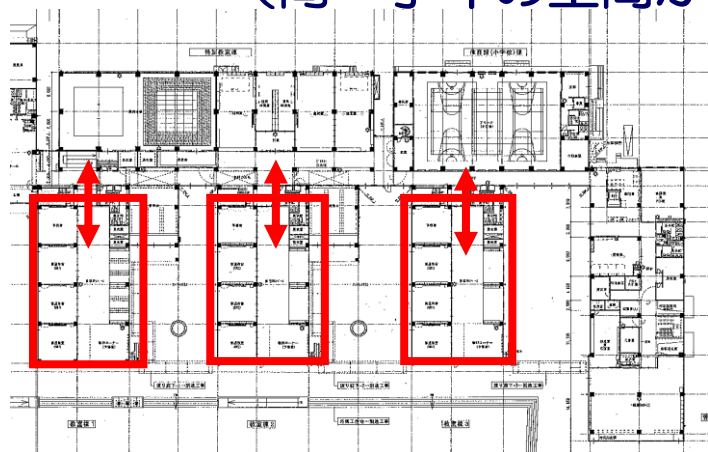


中学校

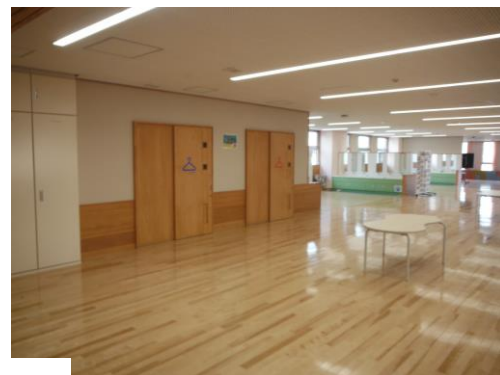
- 生徒が主体的に学ぶことを重視して、大型モニターなどの情報機器を備えた教科教室を2～3教室配置
- 落ち着いた学級活動が確実に実施できるよう、普通教室同等のホームベース (HB) を配置し、教科教室を配置していない教科についてはHBで授業を実施
- 教室外にロッカースペースを配置し、スッキリした教室内環境を目指す

小学校：学年ユニット配置の考え方

(同一学年の空間が通過動線部分とならないように計画)



学年ユニット出入口



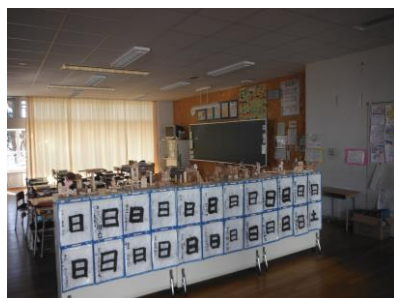
オープンスペース



小学校：可動式の間仕切り



教室とオープンスペース間
可動式の間仕切りの例
(※一体型校に採用予定)



移動ロッカーで簡易間仕切り防
音性能無し

中学校ロッカースペース



十分なロッカー容積を
確保



※中学生ロッカーとしては容量不足！